

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	ルーラルデザイン小委員会	主 査 名：大沼正寛 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：山崎寿一
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>農山漁村・田園地域に立地する住宅・建築の現在形・未来形をテーマに、新たなルーラルデザインの研究ビジョンを構築する。主に①地域の特性や文脈の解釈と「地」「図」「時」の建築環境デザインの在り様、②地域の状況改善における主体の養成と自立・共創の在り様、③地域の状況改善に寄与する建築環境デザインおよび地域計画論の将来方向を検討する。</p> <p>初年度：年 3 回の研究会を開催する。関東・関西・現地で各 1 回を予定。 2 年度：年 3 回の研究会を開催する。 3 年度：上記に準じる。 4 年度：上記に加え、成果をまとめ、編集・公刊する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	<p>主査：大沼正寛 (東北工大) 幹事：平田隆行 (和歌山大)・三笠友洋 (西日本工大) 委員：山崎寿一 (神戸大)・宮崎篤徳 (関西大)・下田元毅 (大阪大)・稲地秀介 (摂南大) ・竹内泰 (東北工大)・佐藤圭一 (福山大)・池ノ上真一 (北海道教育大) ・魚谷繁礼 (魚谷繁礼建築研究所)・菅原香織 (秋田公立美大) ・阿部正 (ノーマルデザイン Assoc.)・津村泰範 (長岡造形大)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 初動期であったが、とくに主査の時間的制約が多かったことから (建築学会大会運営行事部会長等)、残念ながら目標達成には至っていない。</p> <p>2. ただしメンバー内の意見交換は重ねており、集落班/建築班による基礎的検討は徐々に始めている。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 活動の矛先として、地方衰退や震災復興、そして建築そのものからエリア全体まで、検討対象の整理が必要であり、主査・幹事を中核として、メンバーによる個別具体の研究内容や考え方に肉薄する必要があると考えられる。</p> <p>2. スケジュールリング、マネジメントの課題と共同的解決の可能性を模索する。</p>